

相模原市の人の動き

～第6回（H30）東京都市圏パーソントリップ調査から～



令和4年3月
相模原市

目 次

序 はじめに

序1 パーソントリップ調査とは	1
序2 東京都市圏パーソントリップ調査の概要	2
序3 市の概況	2

1 調査結果の概要

(1) 相模原市全体の人の動き	4
(2) 市内の発生集中交通量	5

2 パーソントリップ調査からみた人の動き

(1) 外出率の変化	6
(2) 年齢別1人当たりトリップ数の変化	6
(3) 地区別の交通手段	7
(4) 市内鉄道駅まで(から)の移動手段	8

3 相模原市内の移動実態

(1) 相模原市内を発着とする移動	9
(2) 区別の交通手段	10

4 相模原市外との移動実態

(1) 緑区における市外との移動	11
(2) 中央区における市外との移動	12
(3) 南区における市外との移動	13
(4) 市内居住者の市外への移動	14
(5) 通勤・通学目的での移動	15
(6) 私事目的での移動	16

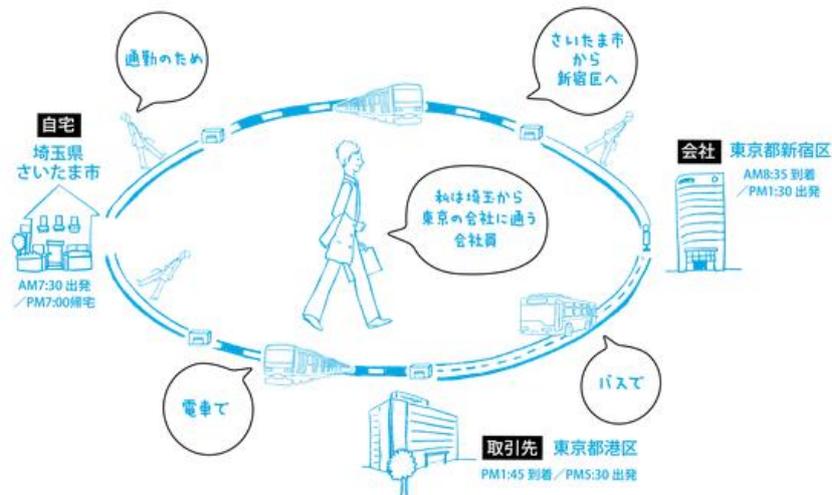
序 はじめに

相模原市における交通の現状を把握するため、平成30年に実施し、令和2年度に公表された東京都市圏パーソントリップ調査の結果から、相模原市を中心とした視点で「人の動き」について、取りまとめました。

序1 パーソントリップ調査とは

○調査の目的

パーソントリップ調査は、「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかなどを調べるものです。そこからは、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量などを求めることができます。この調査データをもとに、交通の実態を総合的に把握、分析し、都市圏や各都市の望ましい交通体系のあり方を検討します。



出典：東京都市圏交通計画協議会ホームページ

○調査の内容

パーソントリップ調査は、人の移動に関する内容についての調査であり、ある人の平日の1日の動きを調査しています。第6回東京都市圏パーソントリップ調査では、以下の項目（概要）を調査しました。



出典：東京都市圏交通計画協議会ホームページ

序2 東京都市圏パーソントリップ調査の概要

○調査の圏域

東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県南部を調査の対象範囲として設定しています。



○調査の対象者

都市圏にお住まいの方から無作為に選ばれた世帯構成員（5歳以上）全員

○調査の方法

調査対象生体に調査票を配布し、郵送もしくはインターネット上で回答してもらう方法で実施。

○回収の結果

回収数は都市圏全体で約 31 万人（相模原市内で約 7 千人）

序3 市の概況

○市の区域

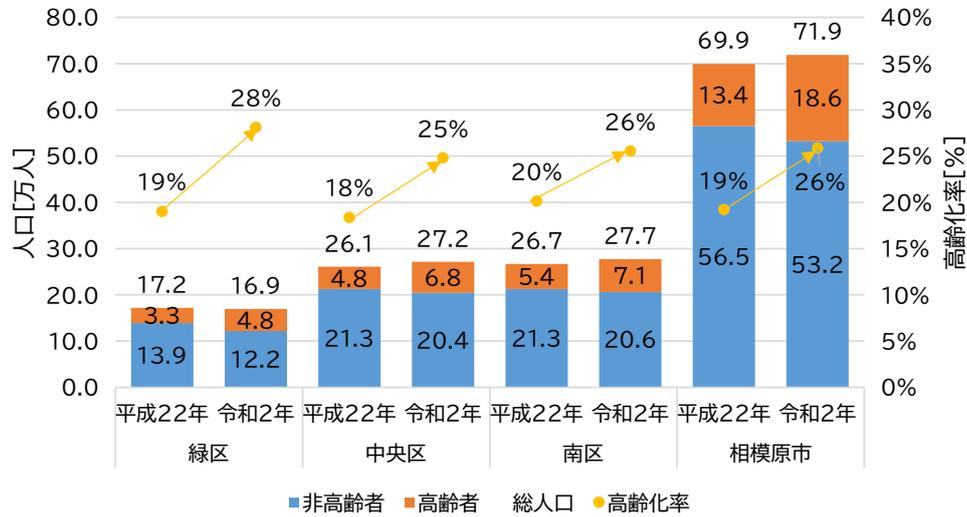
平成 22 年の指定都市移行を踏まえ、3つの行政区（緑区、中央区、南区）と 22 のまちづくり区域を設定しております。



出典：市ホームページ

○人口動向

- ・相模原市全域の人口は平成22年から令和2年までの10年間で約2万人、増加しています。
- ・中央区と南区では増加、緑区では減少しています。
- ・高齢化率はすべての区で増加し、25%を超えています。

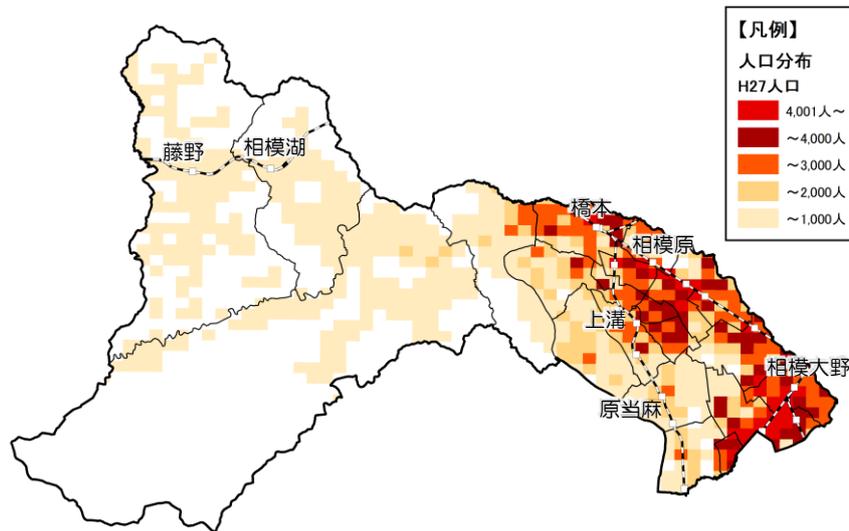


出典：各都市の住民基本台帳

図 序-1 人口動向と高齢化率

○人口分布

- ・人口は、中央区や南区の鉄道駅周辺に集中して分布しており、特に橋本駅、相模原駅、相模大野駅といった3拠点周辺において人口増加が見られます。



出典：国勢調査

図 序-2 人口分布（平成27年）

1 調査結果の概要

(1) 相模原市全体の人の動き

- 市外との移動（市内⇒市外または市外⇒市内）における発生集中交通量は約 73 万トリップとなっており、県央地域との移動による交通量が最も多く、次いで東京区部、町田市、横浜市の順に多くなっています。
- 交通手段に着目すると、東京区部や横浜市など遠距離の移動では鉄道が最も多く、県央地域や町田市など比較的近距离の移動では自動車が多くなっています。
- 市外との移動における目的に着目すると、東京区部や川崎市は通勤目的が多い一方、町田市や県央地域は私事目的の移動が多くなっています。

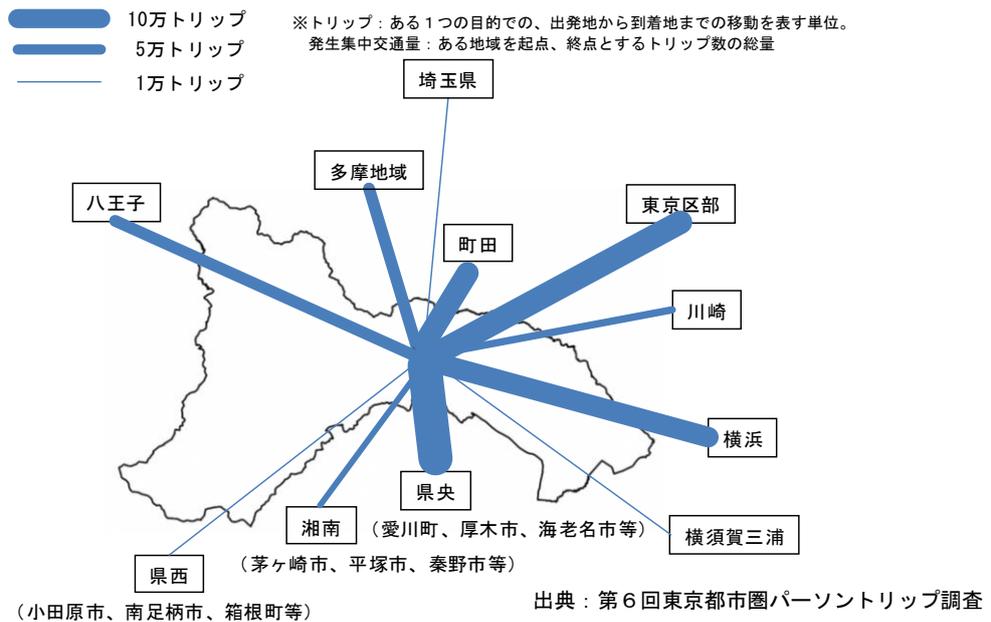


図 1-1 市外との移動における発生集中交通量（市全体）

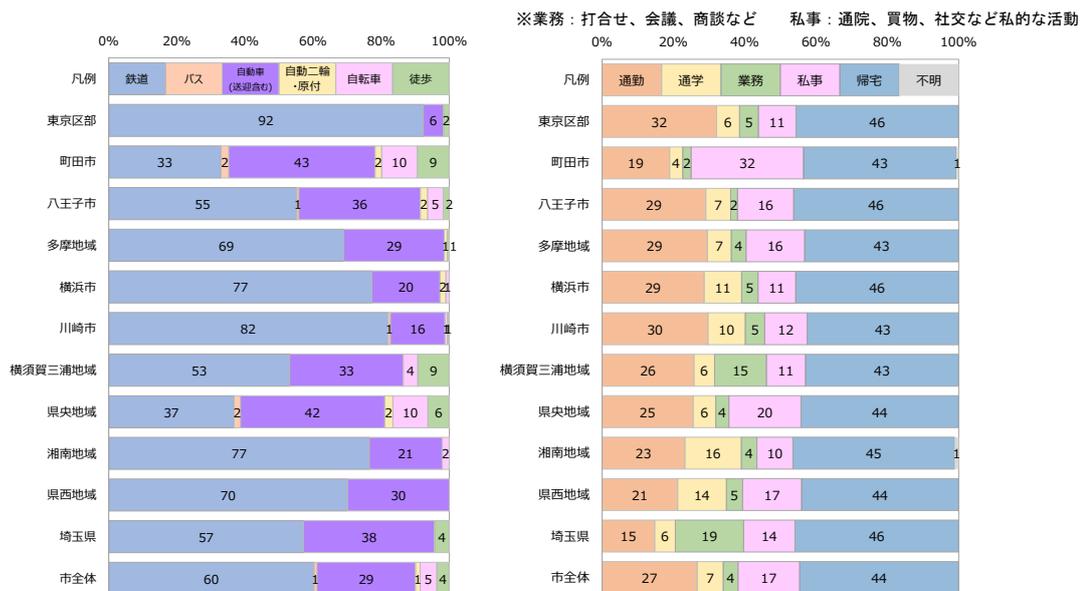


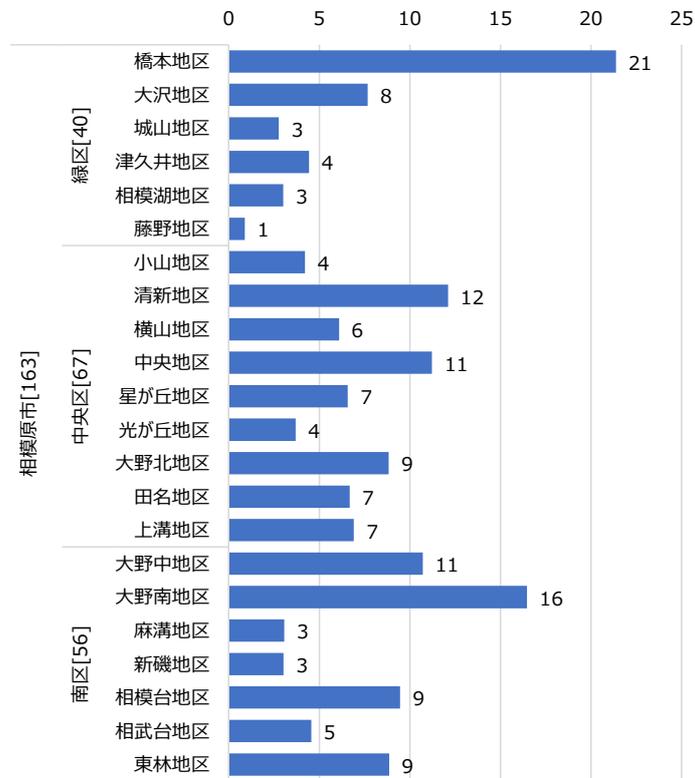
図 1-2 市外との移動における代表交通手段及び目的構成（市全体）

(2) 市内の発生集中交通量

- 相模原市の発生集中交通量は相模原市全域で 163 万トリップ、緑区 40 万トリップ、中央区 67 万トリップ、南区 56 万トリップとなっており、市の中心市街地である「相模大野（大野南地区）」、「橋本（橋本地区）」、「相模原（清新地区、中央地区）」において交通量が多くなっています。



発生集中交通量[万トリップ]



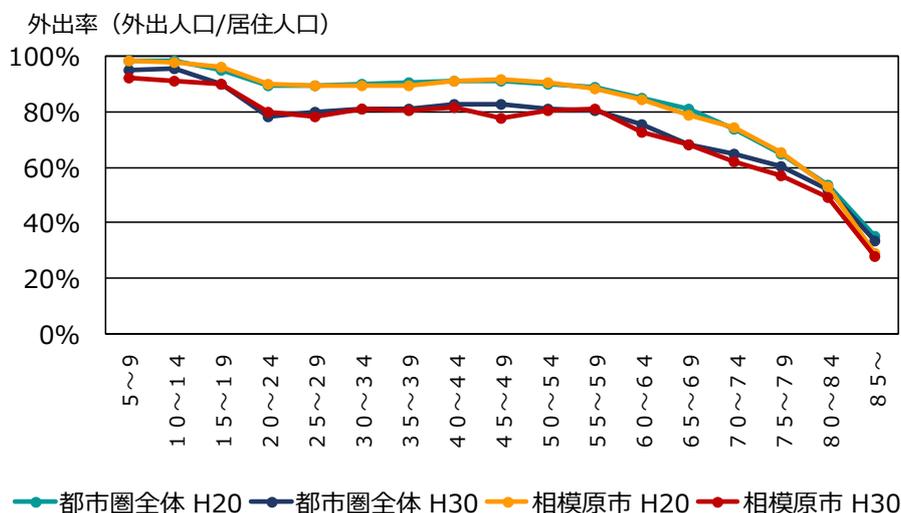
出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 1-3 地区別発生集中交通量

2 パーソントリップ調査からみた人の動き

(1) 外出率の変化

- 外出率は、10年前の平成20年と比較すると、概ね全世代において低下しており、これは東京都市圏全体の傾向と同様です。

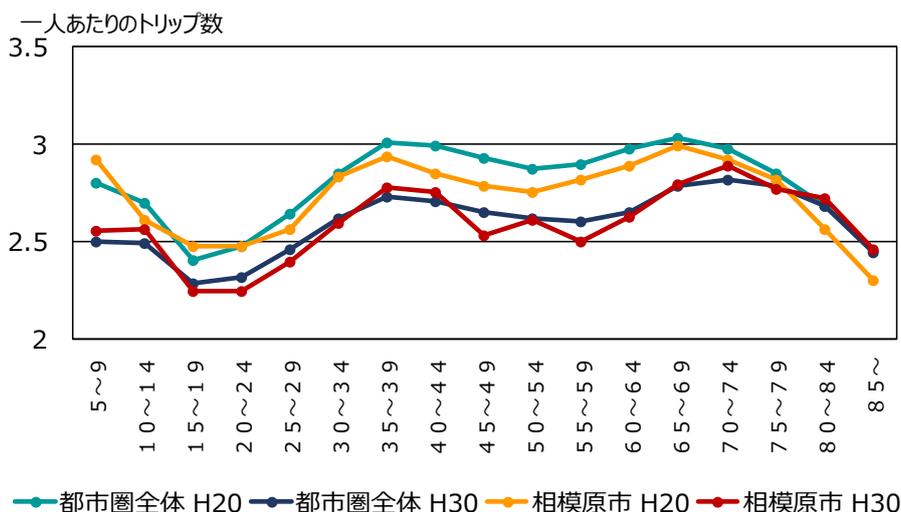


出典：第5回及び第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 2-1 外出率の変化

(2) 年齢別1人当たりトリップ数の変化

- 1人あたりトリップ数は、10年前の平成20年と比較すると、広い世代で減少しているものの、80歳以上では増加しています。

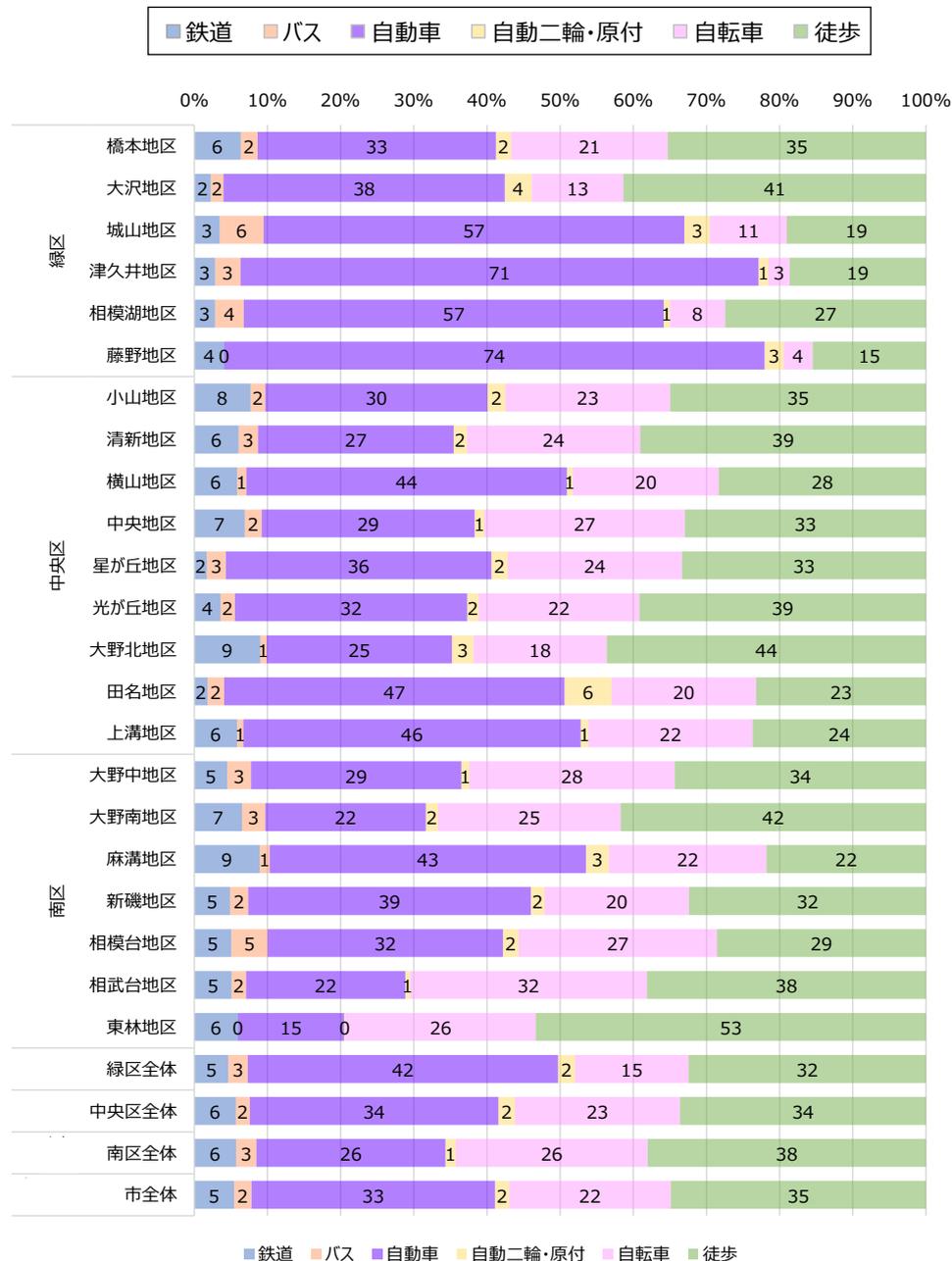


出典：第5回及び第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 2-2 一人あたりのトリップ数の変化

(3) 地区別の交通手段（市内の移動）

- ・市内の移動（市内⇒市内）における交通手段は、市内全体では、徒歩や自動車での移動が多くなっており、地区別に着目すると、緑区では自動車、南区では徒歩の移動が多くなっています。



※パーソントリップ調査はサンプル調査であり、全ての人の動き（トリップ）を把握しているわけではないため、数値がゼロとなる場合がある。
構成比の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

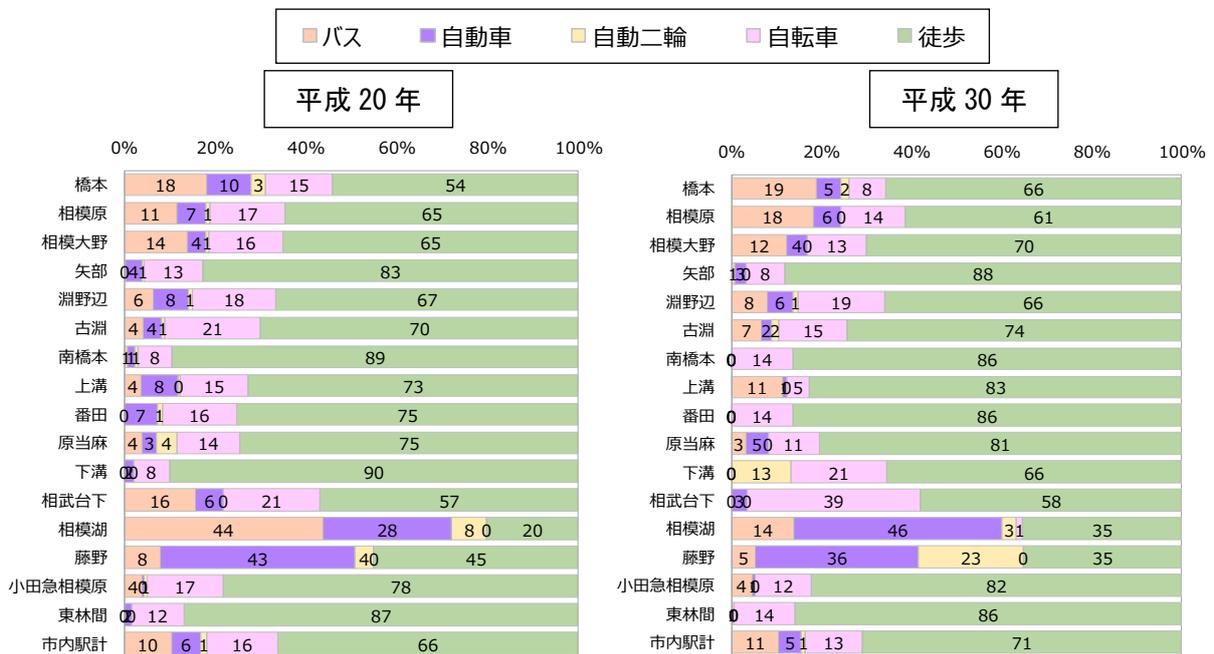
図 2-3 地区別代表交通手段分担率

(4) 市内鉄道駅まで(から)の移動手段

- ・市内の各駅における駅まで、または駅からの交通手段を合計した利用率は、徒歩が約71%と平成20年から5%増加しており、バスは横ばい、自転車は減少しています。
- ・平成30年では、市の中心市街地である3拠点の橋本駅、相模原駅、相模大野駅の他、上溝駅、相模湖駅において、他駅と比較してバスの利用率が高くなっています。



図 2-4 市内及び近隣の鉄道駅



※パーソントリップ調査はサンプル調査であり、全ての人の動き(トリップ)を把握しているわけではないため、数値がゼロとなる場合がある。構成比の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

出典：第5回及び第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 2-5 鉄道駅まで(から)の交通手段利用率の推移

3 相模原市内の移動実態

(1) 相模原市内を発着とする移動

- ・市内を発着とするトリップは、JR 横浜線や国道 16 号沿線の相模原地域に集中しており、津久井地域と比較すると交通量に差がみられます。
- ・橋本駅や相模原駅、相模大野駅を含む区域において、交通量が多くなっており、これらの拠点間を結ぶ交通量も多くなっています。

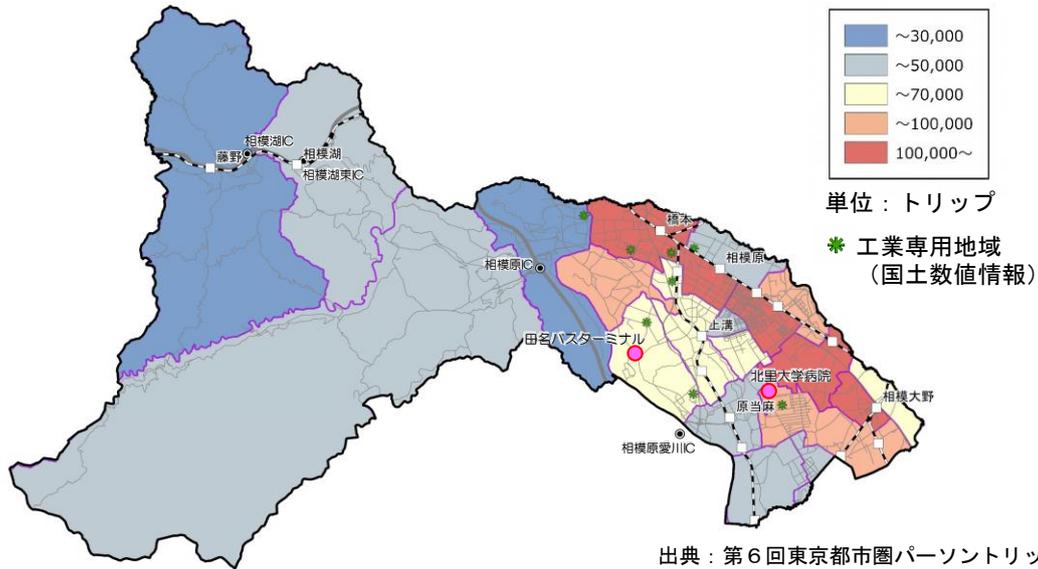


図 3-1 1日あたりの市内を発着する発生集中交通量

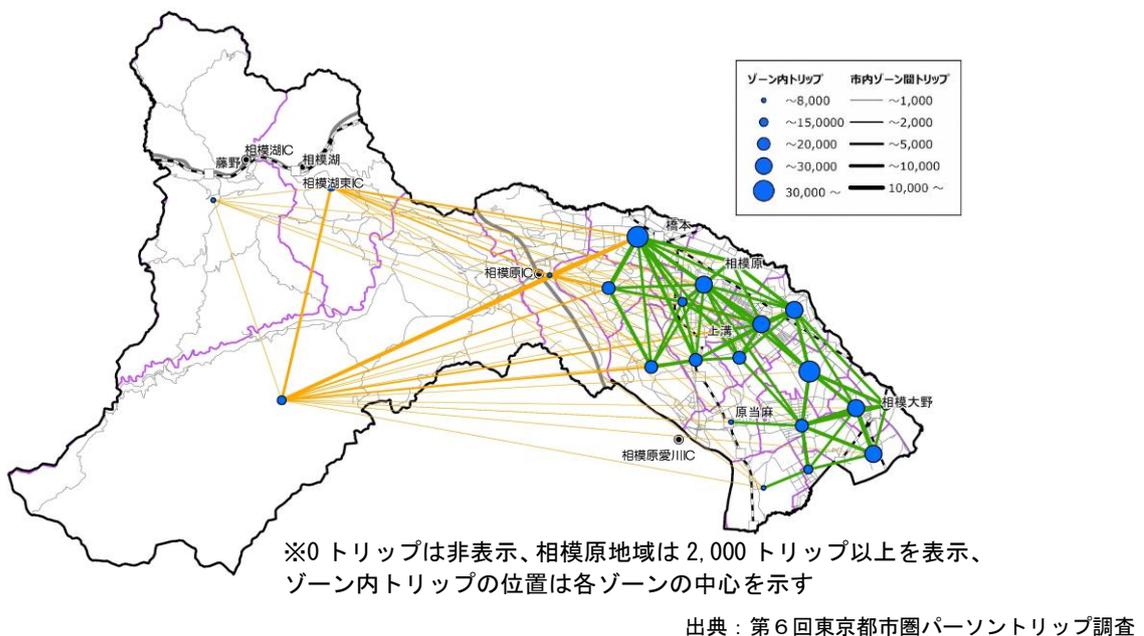


図 3-2 1日あたりの市内のゾーン内・ゾーン間トリップ

(2) 区別の交通手段

- ・緑区では、自動車が42%を占めており、特に、中山間地域においては、自動車66%と自動車の分担率が高くなっています。
- ・中央区では、自転車と徒歩を合わせると全体の大半を占めています。
- ・南区では自転車と徒歩を合わせて64%を占め、緑区は自動車が約40%を占めています。

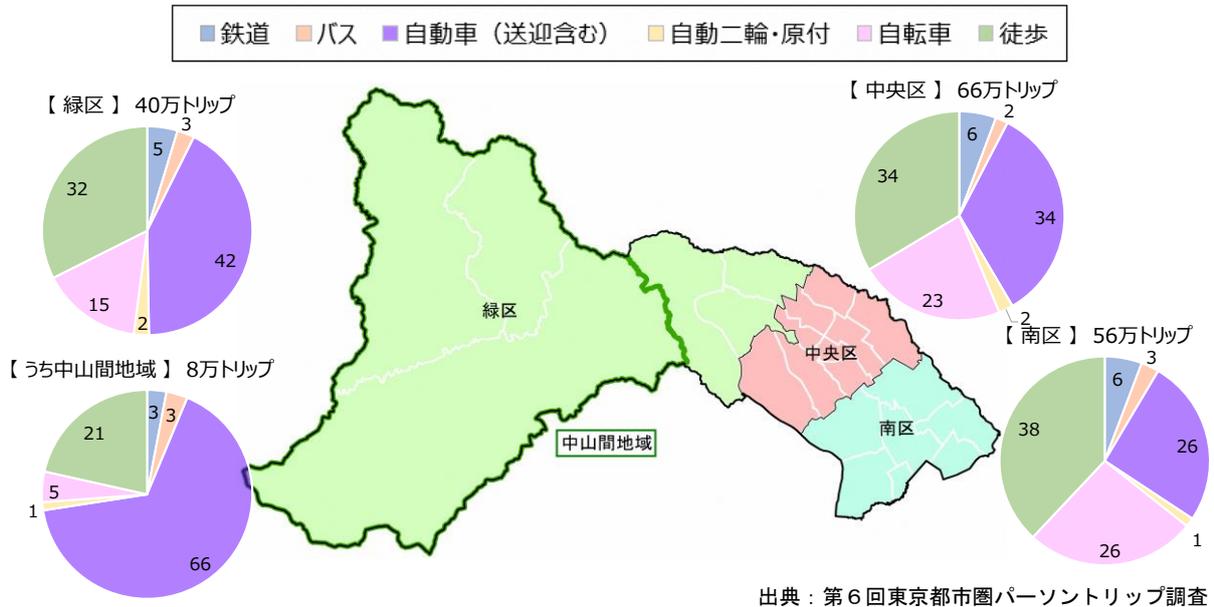
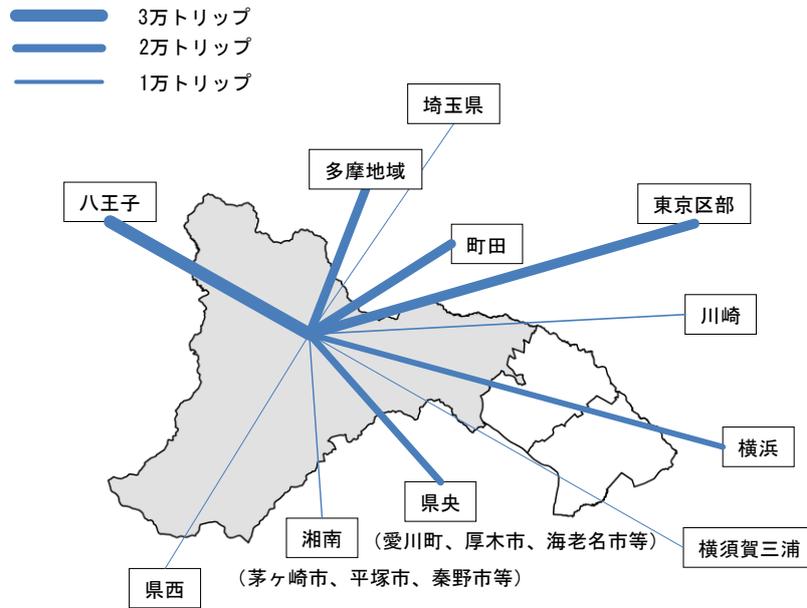


図 3-3 市内を発着する発生集中交通量及び代表交通手段分担率（区別）

4 相模原市外との移動実態

(1) 緑区における市外との移動

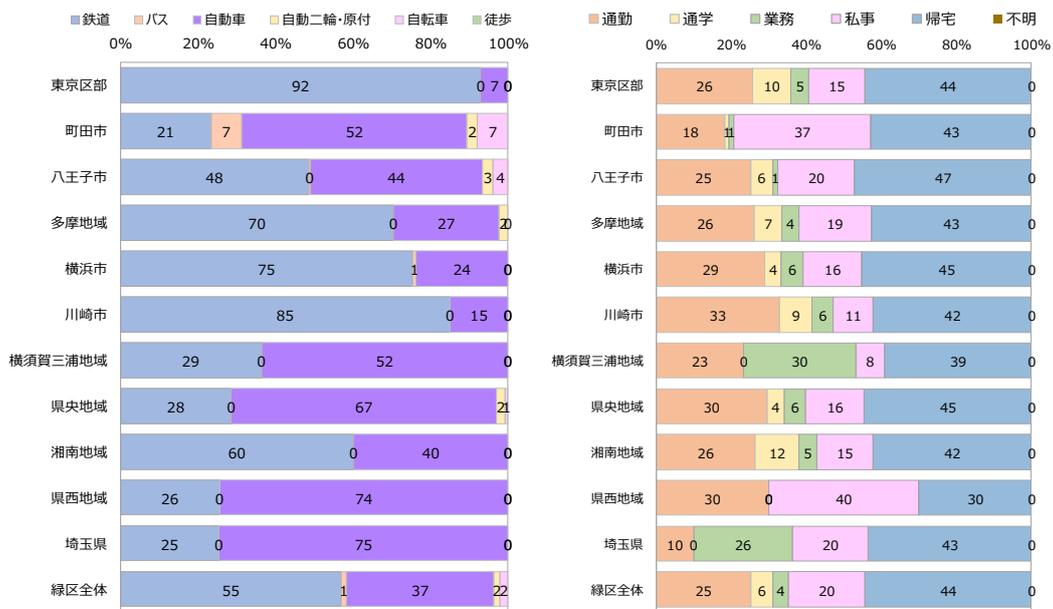
- ・緑区における市外との移動（緑区内⇒市外または市外⇒緑区内）は、八王子市が最も交通量が多く、他地域と比較すると町田市への移動のみ、バス利用の割合が高くなっています。また、東京区部への移動は、南区、中央区と同様に鉄道が大半を占めています。
- ・移動目的について、他区と比較すると私事目的の移動が多い傾向となっています。



(小田原市、南足柄市、箱根町等)

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 4-1 市外との移動における発生集中交通量（緑区）



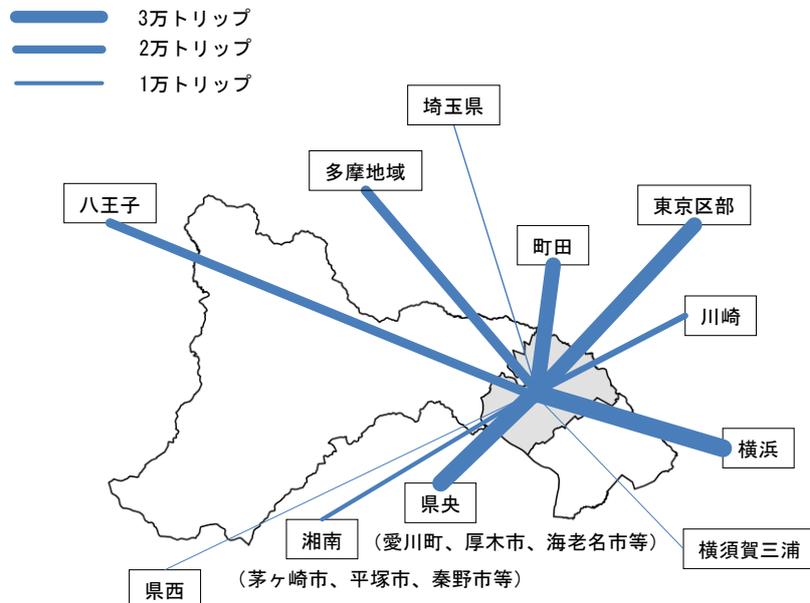
※パーソントリップ調査はサンプル調査であり、全ての人の動き（トリップ）を把握しているわけではないため、数値がゼロとなる場合がある。構成比の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 4-2 市外との移動における代表交通手段及び目的構成（緑区）

(2) 中央区における市外との移動

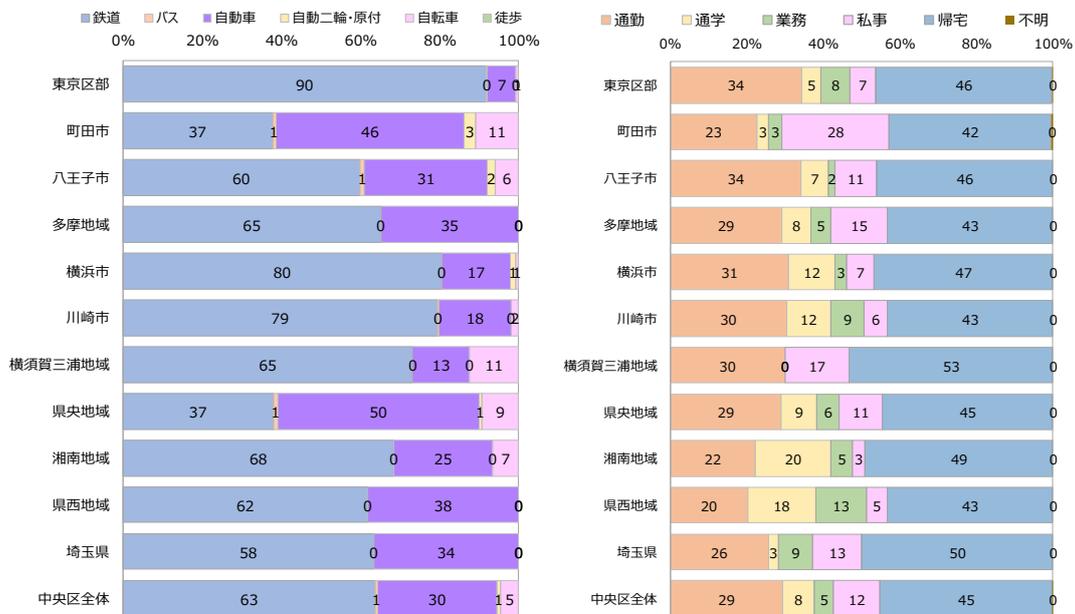
- ・中央区における市外との移動（中央区内⇒市外または市外⇒中央区内）は、横浜市が最も交通量が多く、比較的近距离の県央地域や町田市は自動車利用の割合が高くなっています。また、東京区部への移動は鉄道が大半を占めています。
- ・移動目的は、東京区部や八王子市、横浜市等は通勤目的が多い一方、町田市は私事目的の移動が多い傾向となっています。



(小田原市、南足柄市、箱根町等)

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 4-3 市外との移動における発生集中交通量（中央区）



※パーソントリップ調査はサンプル調査であり、全ての人の動き（トリップ）を把握しているわけではないため、数値がゼロとなる場合がある。構成比の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 4-4 市外との移動における代表交通手段及び目的構成（中央区）

(3) 南区における市外との移動

- ・南区における市外との移動（南区内⇒市外または市外⇒南区内）は県央地域が最も交通量が多く、比較的近距离の県央地域や町田市は自動車利用の割合が高くなっています。また、東京区部への移動は鉄道が大半を占めています。
- ・移動目的については、多摩地域や東京区部は通勤目的が多い一方、町田市や県央地域は私事目的の移動が多い傾向となっています。

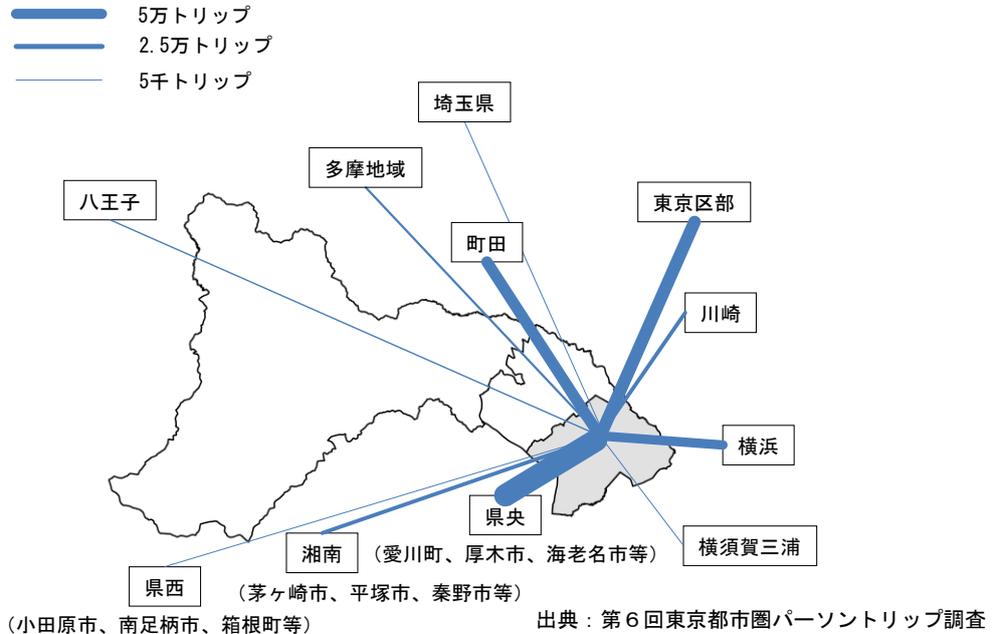
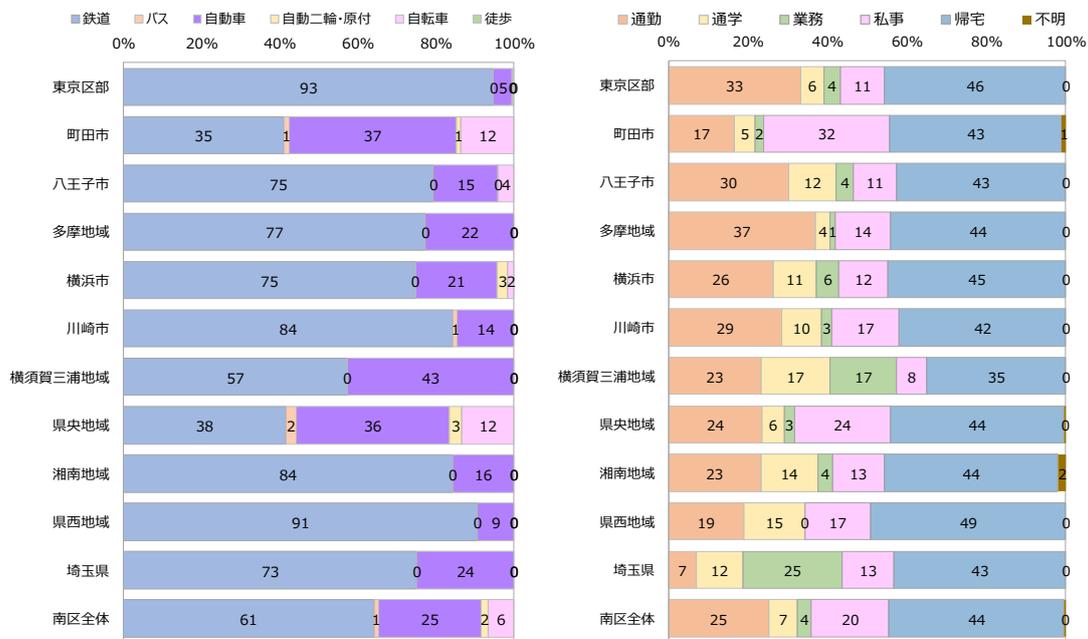


図 4-5 市外との移動における発生集中交通量（南区）



※パーソントリップ調査はサンプル調査であり、全ての人の動き（トリップ）を把握しているわけではないため、数値がゼロとなる場合がある。構成比の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 4-6 市外との移動における代表交通手段及び目的構成（南区）

(4) 市内居住者の市外への移動

- ・相模原市内居住者の市外への移動は、東京区部、県央地域、横浜市の順に多くなっています。
- ・町田市や県央地域への移動においては、自動車や自転車も比較的多く利用されています。

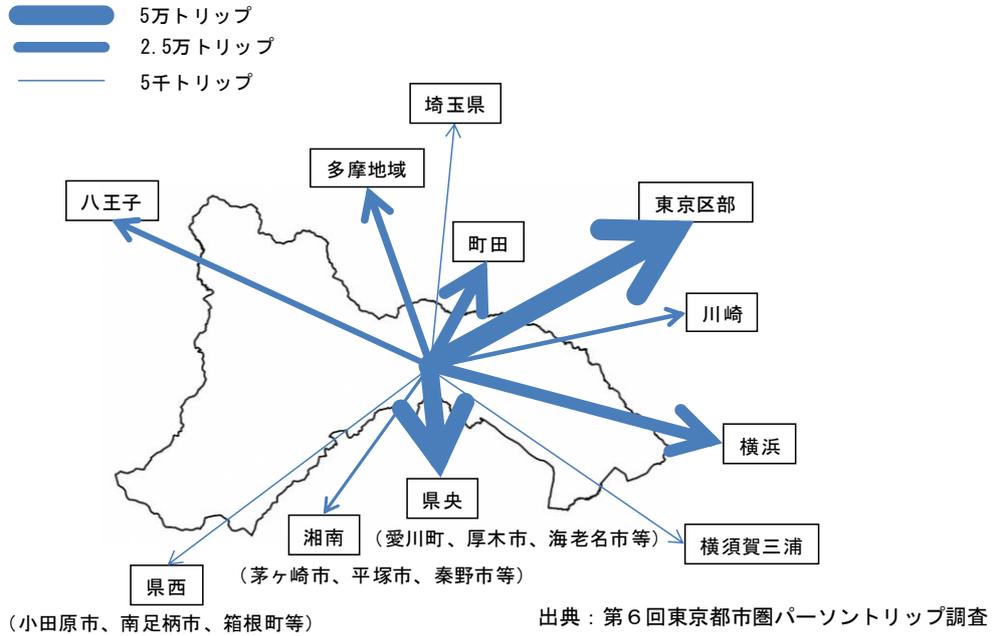
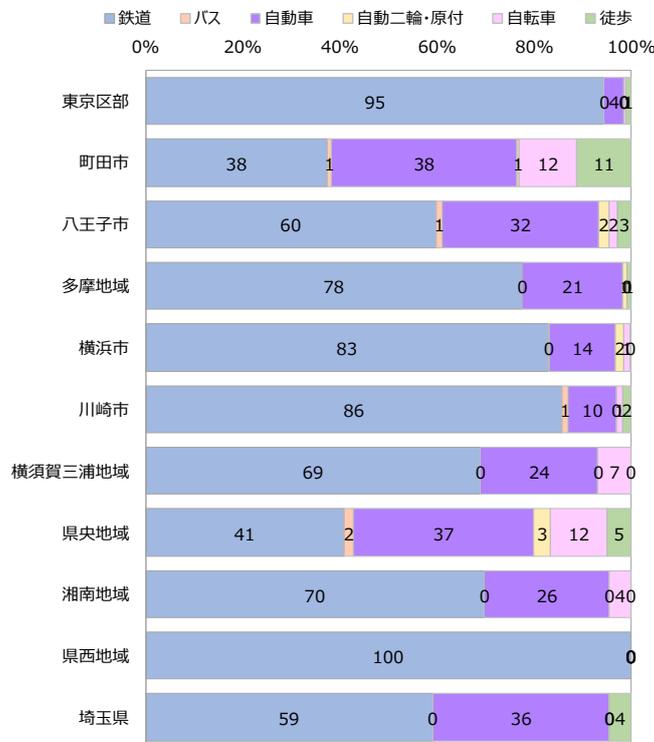


図 4-7 市内居住者の市外への移動における発生集中交通量



※パーソントリップ調査はサンプル調査であり、全ての人の動き（トリップ）を把握しているわけではないため、数値がゼロとなる場合がある。
構成比の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 4-8 市内居住者の市外への移動における代表交通手段構成

(5) 通勤・通学目的での移動

- ・市内居住者の市外への通勤・通学目的での移動は、東京区部、県央地域、横浜市の順に多くなっています。
- ・主に、鉄道が多く利用されていますが、町田市や県央地域へは自動車の利用も30%と多くなっています。

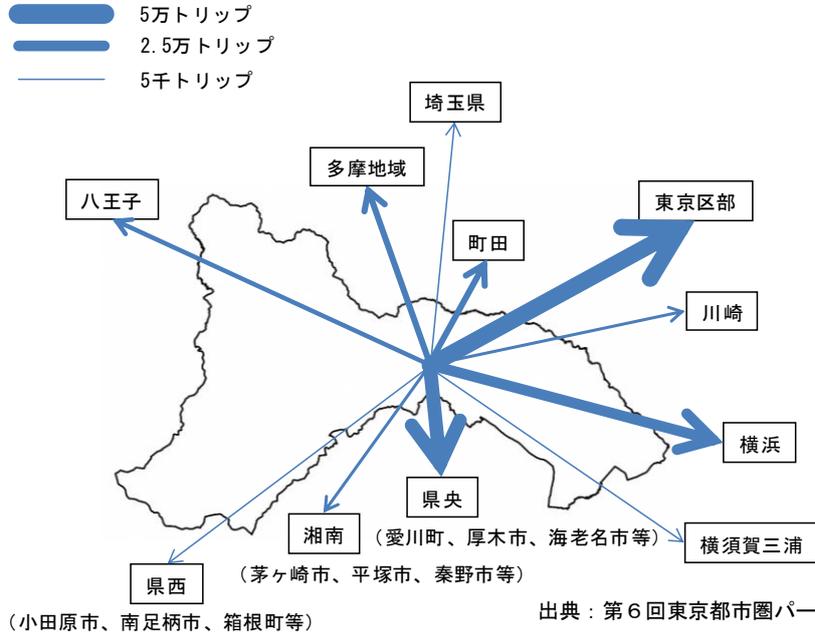
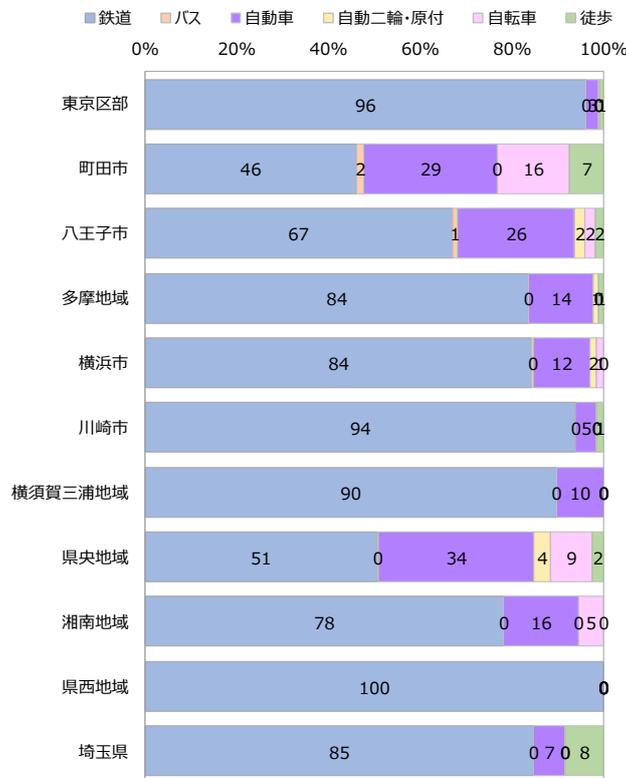


図 4-9 市内居住者の通勤・通学目的での市外への移動における発生集中交通量



※パーソントリップ調査はサンプル調査であり、全ての人の動き（トリップ）を把握しているわけではないため、数値がゼロとなる場合がある。構成比の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 4-10 市内居住者の通勤・通学目的での市外への移動における代表交通手段構成

(6) 私事目的での移動

- ・市内居住者の市外への私事目的の移動は、町田市、県央地域、東京区部の順に多くなっています。
- ・東京区部へは鉄道利用が多い傾向ですが、他地域は自動車や自転車の利用も多くみられます。

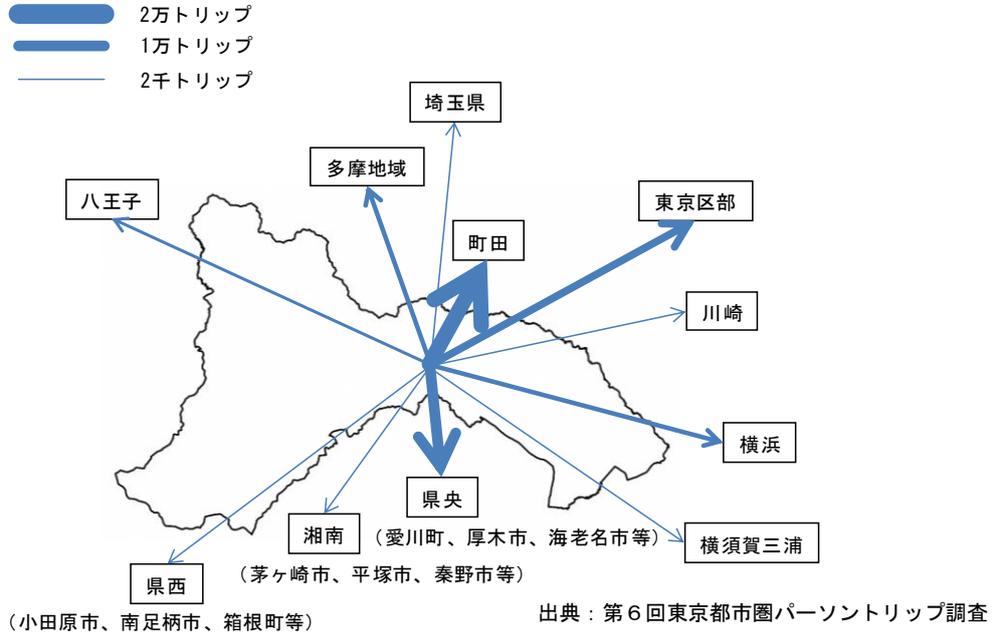
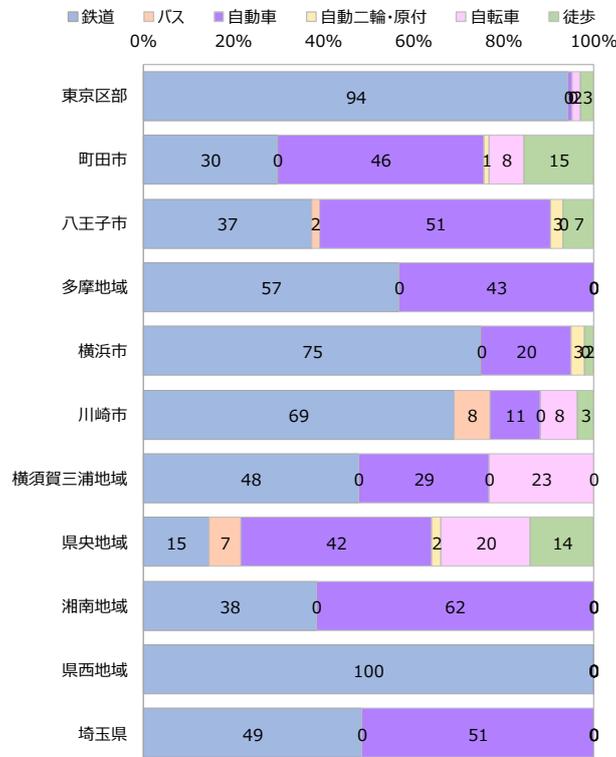


図 4-11 市内居住者の私事目的での市外への移動における発生集中交通量



※パーソントリップ調査はサンプル調査であり、全ての人の動き（トリップ）を把握しているわけではないため、数値がゼロとなる場合がある。構成比の数値は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

出典：第6回東京都市圏パーソントリップ調査

図 4-12 市内居住者の私事目的での市外への移動における代表交通手段構成

相模原市の人の動き

～第6回（H30）東京都市圏パーソントリップ調査から～

発行 / 令和4年3月

編集 / 相模原市 都市建設局 まちづくり推進部 交通政策課

（連絡先）

相模原市 都市建設局 まちづくり推進部 交通政策課

〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号

TEL : 042-754-1111（代表） FAX : 042-757-6859